

# diculc

Dixi R8 6/14 PS Doppelphaeton (ドイツ, 1910)

始まり

scale 1:43

#01018

release

01/2023

limited edition 333 pcs.



## 最初の10年はコンバーチブルとともに

「私はすべてを話した（もうこれ以上言うことはない）」という意味を持つラテン語の「Dixi」の名を掲げて設立された同社は、1906年から特別設計の水冷4気筒4サイクルエンジンを搭載した自動車を生産していた。このエンジンは、排気量が改善されただけでなく、容量7.3リッター、最高出力65hp、最高時速85kmという最強のものであった。

1907-1908年頃、会社の経営陣は車種の範囲を拡大することを決定した。そのために、排気量を1.5リッターに抑えた4気筒エンジンが採用された。その結果、出力は14hp、1,600rpmという穏やかな回転数になった。エンジンは横型バルブで、自社製のスプレーノズルキャブレターでガソリンと空気の混合気を供給し、ポンプで水冷した。点火は磁石とバッテリーのダブルイグニッションで行われた。4気筒の始動は、エンジン前面のクランクで行った。当時、エンジンは前車軸の上に搭載することが義務付けられており、後車軸は3速ギ

アボックスで駆動されていた。減速は後輪のみで、内部拡張式ブレーキを使用した。625kgの鋼板でできた重いシャーシと2.5mのホイールベースに、顧客は自分の好みのボディを選ぶことができた。路面のでこぼこは、スポークホイールに取り付けられたビードエッジタイヤと半楕円形のリーフスプリングによって多少吸収された。

ディクシィはこのモデルを1908年からタイプR8 6/14PSとして提供し、1914年まで生産を続けた。当時、アイゼナハの工場から出荷されたこのタイプの車は、合計650台であった。

当時、ディクシィ R8 6/14PSを選んだバイヤーの中には、ザクセン、ゴータ、コーブルグの大公がいた。

**AutoCult GmbH**  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

www.autocult-models.de